

アメリカンビュー

AMERICAN
VIEW



アメリカ大使館公式マガジン

2017 ISSUE 02



特集

ペンス副大統領の来日 日米の強固な友好関係を再確認

日米友好のシンボル、聖路加国際病院

女性のキャリア形成に必要な意識改革

プロを目指すクリエーターの卵たちへの助言

April 18→19 ペンス副大

2017年

4月18日



©AP Images

VPOTUS

1

米海軍厚木基地に到着。
アメリカ大使館職員、
米軍関係者らの出迎えを受けました。



米国政府用語トリビア

副大統領は Vice President of the United States を VPOTUS

副大統領夫人 Second Lady of the United States は SLOTUS と略称されます。

統領の来日



VPOTUS | 2

都内に移動し、
安倍首相との昼食会。
安全保障などの
問題について議論しました。



VPOTUS | 3

引き続き、首相官邸で麻生副総理と共に
日米経済対話第1回会合に臨みました。
その後、共同記者会見で会合の成果を報告しました。

VPOTUS | 4

カレン夫人、2人の娘たちと合流して浅草寺を訪問。

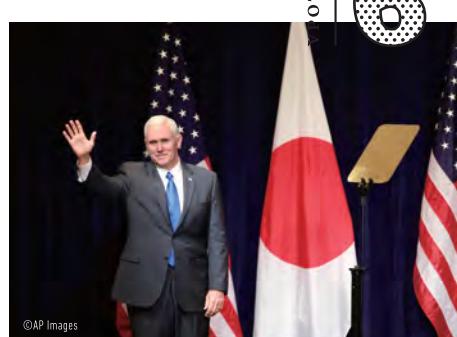
4月19日



VPOTUS | **5**

空母ロナルド・レーガン
艦上で演説。強固な日
米同盟は「アジア太平
洋地域の平和、繁栄、
自由の礎」と語りました。

日米財界人を前にした講演では、日
米経済対話に触れ、両国の経済協力
の重要性を強調しました。



VPOTUS | **6**

カレン夫人と共に世田谷区で行
われていた野球教室に参加。
子どもたちから第48代副大統領
にちなみ、背番号48がついた
ユニフォームが贈られました。



VPOTUS

8

厚木基地から次の訪問国インドネシアに向けて出発。

カレン夫人のスケジュール (副大統領と別行動の部分のみ)



SLOTUS

1

都内で麻生副総理夫人の千賀子さん、娘の彩子さんとの昼食会。
副大統領の次女オードリーも同席しました。

聖路加国際病院でアートセラピー・プログラムに参加。アートセラピーはカレン夫人のライフワークでもあります。

SLOTUS

2**4月19日**

SLOTUS

3

娘2人と一緒に草月会館で生け花に挑戦しました。

St. Luke's International Hospital

国際路加病院　聖シンボル、日米友好の

聖路加国際病院は100年以上にわたり、日米関係の歴史で重要な役割を果してきました。カレン・ペンス副大統領夫人が、さまざまな健康問題を抱える患者にとって有効な介入療法としてアートセラピーを推奨する自らの活動を語る場所として、この病院が選ばれた1つの理由はそこにあります。

今年4月、マイク・ペンス副大統領は、カレン夫人、2人の娘と共に就任後初めて来日しました。東京滞在中、カレン夫人と次女のオードリーは聖路加国際病院を訪れ、小児病棟でアートセラピー・セッションに参加し、病気の子どもたちと一緒に海の生物の絵を描きました。描かれた作品はその後、スキャン、デジタル処理され、生物たちが生き生きと泳ぐデジタル水族館として壁一面に映し出されました。カレン夫人はまた、日本でアートセラピーに携わる大学教授や医師、専門家との懇談会にも出席しました。



聖路加国際病院は、都内有数の大規模な総合医療機関として多くの人に知られています。しかし、副大統領夫人の訪問先として聖路加国際病院が選ばれたのはなぜでしょう。そして、この病院が日米友好のシンボルになっているのはなぜでしょう。

聖路加国際病院は、1902年、米国聖公会が日本に派遣した、25歳のジョージア州出身の宣教医師、ルドルフ・B・トイスターにより設立されました。当時は質素な救貧院で、建物は築地の外国人居留地の端に建てられた小さな木造家屋を使用していました。設立当初から、公衆衛生の啓蒙活動、子どもの福祉や予防医療に力点をおき、同時に、東京に住む人たちに質の高い看護と医療を提供することを目指していました。

1923年の関東大震災で病院の建物は倒壊しました。すぐにアメリカで新病院建築の資金集めが始まったことから、トイスター院長は迅速に病院を



アートセラピーに参加したカレン・ペンス副大統領夫人(右)



再建することができました。新病院の設計は、駐日米国大使公邸も設計した建築家、アントニン・レーモンドが手掛けました。1927年には聖路加女子専門学校が開設され、看護学校として日本で初めて最高教育機関として認可されました。

病院は第2次世界大戦中も開業し続けましたが、病院施設は戦後、米陸軍により11年間接収されました。このため占領下では、東京都から借り受けた施設で開業し、日本国民に医療を提供し続けました。

病院建設の資金調達でトイスター院長を特に支援した人物が、アメリカ人宣教師ポール・ラッシュ博士です。ラッシュ博士は半世紀以上にわたり、山梨県で青少年教育と農業の発展に尽力しました。またアメリカンフットボールを日本に紹介したとも言われています。彼の功績をたたえるポール・ラッシュ祭が、毎年八ヶ岳で開かれます。

聖路加国際病院は、長年にわたり建物や施設を拡張・改修してきましたが、所在地は設立当時のままであります。象徴的なチャペルがある旧館は、数多くの地震に耐えて残り、今も診療に使われています。

米国大使館と聖路加国際病院との特別なつながりを示す事柄の1つとして、現在、同病院が建っている場所に、かつて米国公使館があつたことが挙げられます。1890年に公使館を赤坂に移転する際、公使館跡地の証として、星、白頭鷲、盾を彫った8個の石碑が築地に残されました。そのうち3個は、1984年に米国大使館に寄贈されました。残りの5個は、今なお病院の敷地で見ることができます。

今日、聖路加国際病院は医療機関として非常に高い評価を受けています。その立役者となった



米国大使館に寄贈された石碑のひとつ

のが、現在105歳の日野原重明名誉院長です。1941年に聖路加国際病院で医師として働き始め、聖路加女子専門学校でも教壇に立ちました。経験豊かな日野原先生は、世界で最も長く現役を続ける医師の1人として、今なお活躍しています。日野原先生の父親は、1900年にアメリカ・ノースカラolina州のデューク大学に留学しました。日野原先生も同じように40歳のときにアメリカに留学し、アトランタのエモリー大学で勉強しました。戦後は、病院理事として病院の拡張や発展に尽力し、2015年まで理事長を務めました。聖路加国際病院は1992年5月に新病院が完成し、患者の立場に立った医療を提供する21世紀の最先端医療拠点へと生まれ変わりました。日野原先生の指導の下、日本初となる緩和ケア科と社会心理科を開設し、また若い医師を育成するため、米国式レジデンシー研修制度も導入しました。2017年には、国内初の英語で授業を行なう大学院、聖路加国際大学公衆衛生大学院を立ち上げました。

2015年、日野原先生は、米国大使館が聖路加国際病院に寄贈した2本のハナミズキを植樹する式典に出席しました。この植樹式は、日本からワシントンに3,000本の桜の木が寄贈されてから100年を迎えたことを記念する「友好の木—ハナミズキ・イニシアチブ」事業の一環として、実施されたものです。病院の敷地できれいな花を咲かせている、このハナミズキは、聖路加国際病院と米国大使館だけでなく、日米両国の間に連綿と続く深い友好を表す大切なシンボルとなっています。

必要な意識改革

「女性がキャリアで成功するため」に聞く マルゴ・キャリントン公使

左近充まりえ
在日米国大使館
報道室インター
ン



2017年1月26日、アメリカンセンターJapanのシンポジウムで話すマルゴ・キャリントン米国大使館広報・文化交流担当公使(左)と樋口恵子 東京家政大学名誉教授

2017年1月26日、アメリカンセンターJapanで開催されたシンポジウム「人生100年時代、熱望される女性のリーダーシップ」に参加した。アメリカ大使館のマルゴ・キャリントン広報・文化交流担当公使と東京家政大学名誉教授・樋口恵子先生がパネリストとして登壇し、スペシャルゲストは男女雇用機会均等法の立案者・赤松良子先生だった。

シンポジウムでは、世代間で女性同士が助け合うネットワークと、キャリアを追求するさまざまな方法を議論した。また、この分野で日本に起きた変化や、女性の活躍推進を阻む課題、その解決の糸口としての在宅勤務やメンター制度等について活発な意見交換が行われた。

後日、日米の女性の活躍推進に尽力し続けているキャリントン公使にインタビューした。「人生100年時代」と題して、高齢化社会という文脈で女性の活躍推進について話し合ったシンポジウムについて、キャリントン公使は「とても興味深い議論でした。高齢化は女性の活躍推進を語るときの新たな視点です」と振り返った。キャリントン公使から伺ったことをもとに、女性の活躍推進に関し、日本が取

り入れていくべきアメリカの制度や価値観はどのようなものかを考えてみたい。

世代を超えて女性同士が助け合う

シンポジウムで鍵となったのは「女性同士が助け合う」ということだった。キャリントン公使は、これを実現するために有効な制度としてメンター制度を挙げた。「日本にはメンター制度の伝統がまだ根付いていないため、大使館としてアメリカ式のメンター制度の導入に積極的に取り組んできました。その一例が TOMODACHI MetLife Women's Leadership プログラム (TMWLP) です」。官民パートナーシップ「TOMODACHI イニシアチブ」が運営する TMWLP は、日本の中堅・若手女性リーダーに将来ある日本の女子大学生とペアを組んでもらい、女子学生を次世代のリーダーとして育成するプログラムで、日本各地で行われています。「メンター制度という文化を確立するには、これは自然に出来上がるものではないと認識することが重要です。制度を整え、効果的に役割が果たせるよう人々を教育する必要があります」とキャリントン公使は言う。

より自信を持ち、“lean in” するには

キャリントン公使は、仕事やポジションに「とどまり続ける」ことの重要性について語るにあたり、

Facebookの最高執行責任者(COO)であり、女性の活躍推進を支援するシェリル・サンドバーグ氏の著作のタイトルにもなった“lean in”(=挑戦すること)という言葉に言及した。サンドバーグ氏は2010年、各界のスペシャリストがさまざまなテーマで講演するTED Talksにおいて、「なぜ女性のリーダーは少ないのか」について語った。その中で、女性は自身の能力をより低く見積もってしまい、挑戦しないと指摘した。男性は出世や成功を自分で勝ち得たものだと思うのに対し、女性は外的要因に理由を求める、というのだ。このような傾向を踏まえた上で、女性のためのリーダーシップ研修が重要だとキャリントン公使は語る。「女性にとっての課題は男性とは異なるので、女性のためのリーダーシップ研修が必要です。研修が自分の能力を見極める余裕にもつながります。また女性は個人の利益より皆の利益を求める傾向にあるため、交渉の場では攻めの姿勢に欠けることがあります。ですから女性のリーダーシップ育成に特化した特別なプログラムが必要です」

キャリアを充実させたい日本の女性へ

インタビューでキャリントン公使は、日本の女性に次のようなメッセージを寄せてくれた。「自分の能力に自信を持つこと。自分自身を安売りせず、自分の価値を見極めること。難しい課題に進んで取り組むこと。前向きであり続けること」

シンポジウムでのキャリントン公使の発言も印象に残っている。「多くの組織に『無意識の偏見』がみられます。女性にとって不利に働き、見つけるのが難しい偏見です。その一例が『ケアギバー・バイアス』です。ケアギバー・バイアスとは、雇用主が『女性は家族の世話をする役割を担っているから、キャリアよりも家族を優先する』という偏見を持つことです。このような偏見を持つ雇用主は、男性と同じチャンスを女性に与えません」。この無意識の偏見については、インタビューでこのように付け加えた。「女性が別の女性に対してケアギバー・バイ

アスを持つことがありますから、自分自身の意識を高める必要があります」

キャリントン公使の話を伺い、私はケアギバー・バイアスがあることを認識したうえで、女性同士が多様な生き方をお互いに尊重しながら、世代を超えて助け合える職場の文化をつくることが重要だと感じた。私たちの周りは、いろいろな善意が溢れている。「結婚して家庭に入ったらしいのに」「のんびり子育てをしたらしいのに」などの発言は、善意から出たものであるにもかかわらず、結婚か仕事か、子育てか仕事か、どちらかを選ぶべきだと言っているように聞こえる。女性は今日、男性と同じように、もしくは男性以上に、多様な生き方の選択肢を持つようになった。経済的自立もそれほど難しくなくなってきたおり、働きながら育児をすることも、キャリアを追求することも、選択肢の1つになった。しかし、高みを目指すときにぶつかる壁を、無意識のうちに自分で高くしてはいないだろうか。自分にはできないと思い込んで、断念したことはないだろうか。思い返すと、残念ながら私は心当たりがある。

インタビューの終わりに、キャリントン公使から今後の私の展望を聞かれた。フルブライト奨学金への申請を提案された際、思わず発した言葉は「それはとてもレベルが高いです」。インタビュー現場は笑いに包まれた。女性の活躍推進に关心を持ち、インタビューをしている私でさえ、自分自身のこととなると壁を高くしていた。インタビューを通して、自信を持つこと、自分の能力を低く見積もらないこと、少し高い目標

を設定すること、そして前向きであり続けることの重要性に、私はあらためて気づくことができた。



プロを目指す クリエーターの卵たちへ アメリカ人漫画家からの アドバイス



2016年11月16日、アメリカ大使館が主催するプログラムで講演するディラン・エドワーズさん

デ

ィラン・エドワーズさんはコロラド州デンバーを拠点に活躍する漫画家で、「Transposes」や「Politically InQueerect: Old Ghosts and Other Stories」の作者です。彼の作品は数々のコミック短編集にも掲載されています。2Dアートや彫刻の創作活動も行い、最近ではウェブ上で、若者向けサイエンス・フィクション漫画「Valley of the Silk Sky」を執筆しています。イラストレーターやグラフィックデザイナーとして活躍の幅を広げるほか、パネリストや司会者として漫画や出版関係のイベントにも登場しています。

アメリカン・ビューは、アメリカ大使館が主催するインディーズ系マンガのビジネスモデルの新たな展開に関するイベントのために来日したエドワーズさんにインタビューし、漫画やアート分野での仕事に关心を寄せる日本の若者に、自らの経験を語っていただきました。

クリエイティブな仕事をしたいと考える日本の若者が何よりも知りたいのは、エドワーズのようにアメリカで成功した漫画家がこの仕事を始めたきっかけです。この質問に、エドワーズさんは次のように答えてくれました。

「子どものころ、新聞に連載されているコミックを読み、興味を持つようになりました。新聞の漫画は簡単に読むことができましたから。大

学ではアートを勉強し、漫画専門店で働きました。これが漫画の世界に入ったきっかけです」

アメリカで漫画と言えば、ほとんどの人が「スーパーマン」や「バットマン」といったヒーロー漫画を思い浮かべます。最近では、このような主流派の漫画は、ヒーローものの映画のヒットのおかげで売り上げが急増しています。その一方で、インディーズ系作家や小規模の出版社が手掛ける漫画も、かつてないほど人気が高まっています。インディーズ系作家は、作品の宣伝や資金調達の面で多様なビジネスモデルを試しています。こうした漫画の復活をけん引しているのが、女性、LGBTQ（レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー・クィア）、民族的マイノリティーの作家や、このような人たちを題材にした作品で、大手出版社が従来軽視してきた読者層をターゲットにしています。

アメリカでは多くの人が、漫画は子どもや10代の若者の読み物であり、主にファンタジーやサイエンスフィクションを扱っていると考えています。しかし、今ではインディーズ系書店の棚には、日常生活や真面目なテーマを扱う漫画が並んでいます。多くの作品は自伝的な内容です。

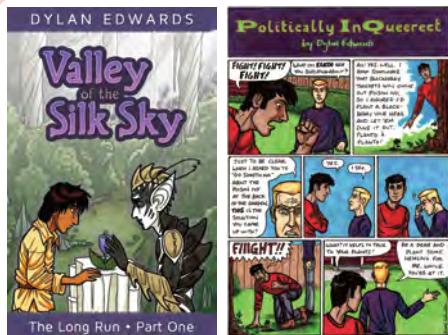
コメディー漫画を読んで育ったエドワーズさんの作品には、ユーモアがちりばめられています。その一方、真面目なテーマも取り上げています。

「漫画は面白おかしくなくていいのです」とエドワーズさんは言います。「私が伝えたいのは個人の経験です。人間を1つの集合体として描かず、一人ひとりを唯一無二の存在にする特徴を描くよう常に努力しています」

エドワーズさんはまた、特定の読者層に合わせた作品作りもしています。

「私は、作品ごとにターゲットにする読者層を考えるので、素材の扱い方も変えていきます。その年齢層の人たちが何に興味を持っているかを考え、それに基づいて作品を描きます」

書店やオンラインで購入できる紙媒体の漫画に加え、ウェブ漫画も人気が高まっています。ウェブ漫画の利点は、作家が作品をオンラインに自由に投稿し、世界中の人人がそれを読めることです。ウェブ漫画をきっかけに、作家たちが作品を掲載する独特の方法を編み出すようになった、とエドワーズさんは説明します。例えば、ウェブ



エドワーズさんの作品「Valley of the Silk Sky」(左)と「Politically InQueerect」

ページのトップから始まり、画面を下へスクロールしながら読む漫画や、一部のコマがアニメーションになっている漫画が、その例です。大多数の漫画家は、ウェブ漫画を新たな媒体としてとらえ、作品を発表し、読者層を広げるため、Tumblr や Tapastic などのプラットフォームに作品を投稿しています。

一方、紙媒体の漫画の利点は、作家が実際

に作品を売ることができる点にあります。「ウェブ漫画はお金になりませんが、紙媒体は実際に売ることができます」とエドワーズさんは言います。「紙媒体の作品があれば、本格的にこの仕事に取り組んでいるアーティストであるという印象を与えられますし、普段漫画を敬遠している人に、実際の作品を見せることもできます」

無名の作家でも、自費出版という形をとれば、紙媒体で作品を発表することができます。自宅で「ミニコミ誌」を印刷し、展示会や地元の書店で販売する作家も多くいます。また、創作活動資金を募る、クラウドファンディング・サイト「キックスターター」(Kickstarter) を活用して、自費出版することも可能です。

しかし、厳しいスケジュールや出版契約がないインディーズ系作家が、創作活動や宣伝活動を続けられるのはなぜでしょうか。エドワーズさんに、その原動力を聞いたところ、次のような答えが返ってきました。

「創作活動を行なっている、自分と同年齢の他のアーティストに会うことが原動力になっていると思います。デンバーでは、毎週火曜日の夜、地元のアーティストたちがカフェに集まるイベントがあり、私も参加しています。そこでは、参加者同士がおしゃべりをしながら、漫画を描いています。この集まりは、刺激を与えてくれるだけでなく、ネットワークづくりの場にもなっています」

創作活動を仕事にしたいと考えている日本の若者へのアドバイスをお願いしたところ、次のように答えてくれました。

「他の人が面白いと思うものでなく、自分が面白いと思うことをしてください。これは、他の分野にも当てはまります。もしあなたが漫画家を目指しているのなら、自分は何を書きたいのか、どんな話やアートから刺激を受けるのか、自分自身に問い合わせてください。そうすれば、自分がしていることにもっと満足するようになりますよ」

TEXAS

テキサスで、古き良き
本当のアメリカに出会う



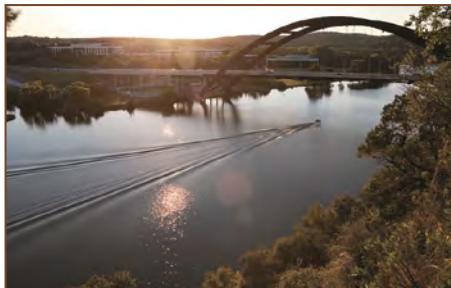
「ローンスター・ステート（1つ星の州）」。白い星を1つあしらった州旗からそう呼ばれるテキサスは、米国南西部に位置しています。面積はアラスカ州に次いで全米第2位で日本の2.2倍、人口は約2億6400万人と、こちらもカリフォルニア州に次ぐ全米第2位です。テキサスには雄大な自然、カウボーイカルチャー、テキサスバーベキュー、テックスメックス（テキサス風メキシコ料理）など多種多様な魅力があります。そして何よりも、テキサスの人々の素朴でおおらかな心が訪れる人々を温かく迎えてくれます。カウボーイたちが西を目指した時代の古き良きアメリカが、今もテキサスには生きています。

ここでは、テキサスを代表する
5つの都市を紹介します。



AUSTIN

ライブミュージックの中心
オースティン



水泳、ボート漕ぎなどができる「オースティンの湖」
(写真提供: テキサス州政府観光局)

テキサス州の州都であるオースティンは、コロラド川沿いに位置しています。市内と周辺に多くの湖があり、水泳、ボート、釣りなどのアクティビティーが楽しめます。オースティンは世界的なライブミュージックの聖地とも呼ばれています。6番街はミュージックシーンの中心地であり、毎夜ほとんど全てのジャンルの音楽を楽しむことができます。毎年3月には世界的に有名な音楽コンベンションの「サウスバイサウスウェスト」が開催されます。

DALLAS

世界クラスのパフォーマンスアートと美術館がある
ダラス



巨大な銅像がならぶ「パイオニアプラザ」
(写真提供: テキサス州政府観光局)

テキサス州北部に位置し、経済、金融の中心として知られているダラス。再開発が進むダウンタウンには高層ビルが立ち並び、ショッピングモールやレストランが軒を連ねています。一方で、テックスメックス料理などカジュアルなレストランも多く、テキサスの豊かな食文化を象徴しています。ここには、ケネディ大統領暗殺の狙撃現場といわれているビルを当時のまま保存し、関連資料を展示する博物館シックスス・フロア・ミュージアムがあります。日本語の音声ガイドもあり、アメリカの現代史について学ぶことができます。

FORT WORTH

カウボーイ文化の始まりとされる
フォートワース



古き良き文化を楽しむことができる「牛追いのデモンストレーション」(AP Photo/Ronald Martinez)

カウボーイハットにウェスタンブーツ姿のカウボーイたちがメインストリートを練り歩くストックヤーズ歴史地区には、かつて全米最大級の家畜取引場があり、フォートワース観光のハイライトの1つです。ここでは毎週末ロデオが開催され、地元の人や観光客で賑わいます。

HOUSTON

テキサス州最大の都市でもある宇宙都市
ヒューストン



宇宙を学ぶことができる「スペース・センター・ヒューストン」
(写真提供: テキサス州政府観光局)

人口規模で全米第4位の大都市ヒューストンでは、アメリカ航空宇宙局(NASA)の観光施設「スペース・センター・ヒューストン」がよく知られています。ここは、司令船をはじめ、実際に宇宙

から帰還した宇宙船や宇宙空間で使用された機材、実物大のスペースシャトルやスペースラボの模型、月の石などを見ることができる唯一の場所です。また、メキシコ湾クルーズの起点となる港町ガルベストンが近く、多く旅行者がクルーズの出発前後の時間をここで過ごしています。

SAN ANTONIO

世界遺産がある歴史的都市
サンアントニオ



世界遺産「サンアントニオのミッションズ」
(写真提供: テキサス州政府観光局)

サンアントニオはテキサス第2位の大都市です。2015年7月にユネスコ世界遺産に登録されたスペイン入植者の歴史的ミッションがあります。見どころはダウンタウンに集中しており、いずれも徒歩圏内に位置しています。リバーウォークはサンアントニオ川の運河沿いにつくられた遊歩道で、ホテル、レストラン、ショッピングモールが立ち並び、週末には賑わいをみせます。



アメリカから生まれ続ける ジャズの巨匠たち

今ヒットチャートの上位を占めているのは、ロック、ラップ、ヒップホップかもしれません。しかし、アメリカは今も、アフリカ系アメリカ人奴隸の黒人靈歌をルーツに持つジャズを世界に贈り続けています。

「ジャズ・アンサンブルは民主主義そのものです。個人が自由に演奏しますが、バンドへの責任も果たさなければなりません」。ジャズ・ピアニストだった故セロニアス・モンクを記念して設立された、ジャズ・ミュージシャンを目指す人のための教育機関、セロニアス・モンク・ジャズ協会の入門書はこのように説明しています。

近頃はかつてのようにラジオからジャズが流れてくることも少なくなりました。それでもマイルス・デービス、セロニアス・モンク、デーブ・ブルーベック、チャーリー・“バード”・パーカー、ビリー・ホリデー、エラ・フィッツジェラルド、カウント・ベーシー、サラ・ボーンなどは、現在多くの人がその名を知っています。

新旧のジャズの巨匠たちを以下にご紹介します。



Miles Davis
マイルス・デービス (1926-1991)

最近の英国放送協会 (BBC) の世論調査で、史上最も偉大なジャズ・アーティストとして、トランペット奏者のマイルス・デービスが選ばれました。

このアドリブ演奏の達人は、ビーバップ（1940年代初期に成立したとされるジャズの一形態）のパイオニア、チャーリー・パーカーと共に演じ、有名な自身のグループを結成したほか、「バース・オブ・ザ・クール」(Birth of the Cool)、「ラウンド・アバウト・ミッドナイト」(Round About Midnight)、「カインド・オブ・ブルー」(Kind of Blue)など、名盤となったアルバムを録音しました。1970年代、デービスはそれまでのジャズの殻を破りエレキギターを演奏に加え、サンフランシスコのロックの殿堂「フィルモア」で演奏しました。常に「斬新な演奏方法」を追求し続けたのです。



Thelonious Monk

セロニアス・モンク (1917-1982)

セロニアス・モンクは複数の名門校に通いましたが、ピアニストとして本格的に学ぶ場となったのは、ニューヨーク、ハーレムにある「ミントンズ・プレイハウス」でした。ソフト帽、ベレー帽、ニット帽、スカルキャップなど帽子好きと、奇抜な性格で知られたこの伝説的ジャズ・プレイヤーは、まるでピアノを攻めるように力強くたたきました。その様子をタイム誌は1964年の特集記事で「ピアノをまるでカリヨン（多数の鐘を組み合わせた打楽器）のバトン式鍵盤か、繊細に調律された

88個のドラムをたたくように弾く」と形容しました。「ピアノは間違った音など出さない」。そう語ったモンクは、「ブルー・モンク」(Blue Monk)、「ルビー・マイ・ディア」(Ruby, My Dear)、「ストレート・ノー・チーサー」(Straight, No Chaser)などの名曲を作曲しています。



Billie Holiday

ビリー・ホリデー (1915-1959)

ビリー・ホリデーほど悲しい人生を送ったシンガーはあまりいないでしょう。アーサー・ハーツオグ・ジュニアとの共作「ゴッド・ブレス・ザ・チャイルド」(God Bless the Child) や、アメリカ南部の白人暴徒がアフリカ系アメリカ人に行った私刑を痛烈に非難する 1939 年作のバラード「ストレンジ・フルーツ」(Strange Fruit) に込められた深い感情表現は、ホリデーならではのものです。過酷な生い立ちを持つ「レディ・ディ」ことビリー・ホリデーは、ナイトクラブで歌い、やがてラジオで放送されるようになり、「サマータイム」(Summertime)、「アイル・ビー・シーアイング・ユー」(I'll Be Seeing You)、「ホエン・ユアー・スマイリング」(When You're Smiling) などのヒットでスターの座をつかみました。後世に残るアルバム「レディー・イン・サテン」(Lady in Satin) をリリースした後、肝臓と心臓を患っていた彼女は 44 歳で他界しました。



Wynton Marsalis

ウィントン・マルサリス (1961-)

ニューオーリンズ出身のトランペッタ奏者、ウィントン・マルサリスは、これまでにジャズとクラシックの両部門で合わせて9つのグラミー賞を獲得しています。また奴隸制についてのオラトリオを作曲し、音楽部門でピュリツツァー賞も受賞しました。マルサリスは、ニューヨークの熱気あふれるジャズの殿堂ジャズ・アット・リンカーン・センターの創設者の1人で、「ムービング・トゥ・ハイイヤー・グラウンド」(Moving to Higher Ground: How Jazz Can Change Your Life) の著書もあります。



Jon Batiste

ジョン・バティステ (1986-)

キーボード奏者ジョン・バティステは、テレビの深夜コメディー番組「ザ・レイト・ショー・ウィズ・ステファン・コルベア」に登場して以来、その癖の強さが人気となり、一気に有名になりました。ニューヨークの音楽大学ジュリアード音楽院のクラスメートと結成したバンド「ステイ・ヒューマン」では、ハーモニカのような楽器メロディカを吹きピアノで即興演奏します。ニューオーリンズ生まれの彼は「楽しくて踊りたくなるような」音楽を目指しています。



アメリカ人のように 話してみない？

シリーズ第9弾

Idioms about
Not Feeling Well

気分が良くないといつても、その中には、悲しい、具合が悪い、疲れている、などいろいろな感情や状況があるよね。そんな感情や状況を表す表現が、英語にはたくさん存在するんだ！いくつか例を紹介するので、覚えて使ってみてね。人だけじゃなく、物にも使える慣用句もあるよ。

Blue

悲しい様子

Example

I'm feeling really blue because my dog died this morning.

今朝、ペットの犬が死んだのでとても悲しい。

Explanation

日本語でも「気分がブルーだ」なんて言うよね。他にも「落ち込む」という意味で“down in the dumps”や“down in the mouth”といった表現があるよ。



Under the weather

体調が優れないこと

Example

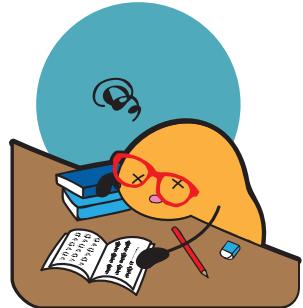
John looks terrible. He must be under the weather.

ジョンはとても気分が悪そう。具合が悪いようだ。



Explanation

具合が悪いときに使う言葉で、二日酔いのときなんかにも使われるよ。反対語に、元気いっぱいという意味で“in the pink”という表現もあるんだ。“Pink”は赤ちゃんの肌の色を連想させるため、極めて健康な状態を意味するよ。ちなみに“in the pink”は人にも動物にも、それから機械に使えるけど、“under the weather”は人か動物にしか使わないから要注意※



Burned out

燃え尽きた、精力を使い果たした

Example

I have so much to do this week. I have to study for an English exam, go to my part-time job, and work at my internship. I'm going to be totally burned out!

今週はとても忙しいんだ。英語の試験のための勉強をして、アルバイトをして、インターンもあるから、燃え尽きちゃうそう。

Explanation

精一杯やりきって、力を出し尽くしたときに使う表現だよ。学校の勉強や部活動に精を出しきること、仕事などに一生懸命になりすぎて疲れきっちゃうことって、誰にでもあるよね。そんな状態を表す言葉として最適だよ♪

On its/one's last legs

疲れ果てていること、死にかけていること、物が壊れかかっていること

Example

I need to get a new bicycle because my old one is on its last legs.

僕の自転車、壊れそうだ。新しいのを買わなきゃ。

Explanation

直訳すると「最後の脚の上」ってことだけど、そこから転じて、自分の足がもうこれ以上自分自身を支えきれなくて、倒れてしまいそうってことを意味するよ。機械とか車とか、物が壊れそうなときにも使えるよ♪



Ricardo J. Pinto

アメリカの誕生日を祝う

7月4日は
アメリカ独立記念日



独立記念日(英語では The Fourth of July)はアメリカ史上最も重要な出来事を記念する日です。1776年7月4日、フィラデルフィアにおいて大陸会議が独立宣言を採択、正式に英国と決別して新たな国家、アメリカ合衆国が誕生しました。独立記念日を7月4日に祝うのは、英國からの独立がこの日、正式に宣言されたからです。4日後の7月8日には、自由の鐘が鳴り響き、バンドが演奏するなか、独立宣言が公の場で初めて朗読されました。

かつて人々は、さまざまなゲーム、スポーツイベント、軍隊のパレード、大かかり火、花火などで独立記念日を祝いました。現在は、7月4日には多くの職場や学校が休みになります。ご近所や家族が集まって、一日ピクニックやバーベキューを楽しみ、アメリカ人が大好きなホットドッグ、ハンバーガー、ポテトサラダ、ベーカドビーンズ、パイ、スイカなどを食べます。自宅や建物の外に星条旗を掲げる光景も多く見られます。パレードを行う町もあり、「建国の父たち」に仮装した人々が高校のプラスバンドの演奏に合わせて行進します。日が暮れると、全米各地で花火が打ち上げられ、友人や家族と一緒に立って見物します。

世界各国のアメリカ大使館・領事館では、日ごろお世話になっている現地の人々を招いて独立記念日を祝うレセプションが開催されます。日本でも東京の大使館と全国5ヵ所の領事館がイベントを催します。会場は星条旗の赤、白、青で装飾が施され、アメリカの音楽の演奏やアメリカ文化の魅力あふれる品々が展示されます。もちろんアメリカン・フードも楽しめます。



在日米国大使館 広報・文化交流部 アメリカンビュー編集部よりお知らせ

インターン募集

広報・文化交流部では、写真撮影や記事の執筆など広報活動のお手伝いをしてくれる学生インターンを募集します。応募締め切りなど詳細についてはこちらをご覧ください。

<http://amview.japan.usembassy.gov/about-amview>

ストーリー募集

アメリカや日米関係にまつわる皆さんのストーリーを記事にしませんか。アメリカ留学旅行中の新たな発見、日米間の架け橋として活躍している人の紹介など、皆さんのがシェアしたいお話をメールで編集部（TokyoAmView@state.gov）までお寄せください。英語でも日本語でも受け付けています。



メリカン・ビューは在日米国大使館 広報・文化交流部が発行するマガジンです。アメリカの文化や社会を日本の皆さんに紹介し、日米関係にまつわる問題や出来事を考察しています。本誌の送付を希望される学校や団体は、使用目的を明記のうえ下記のメールアドレスまでご連絡ください。ご意見・ご要望もお待ちしています。下記のアドレスにお送りいただくか、ウェブ版のコメント欄から送信してください。

連絡先

在日米国大使館 広報・文化交流部報道室 アメリカン・ビュー編集部

〒107-8420 東京都港区赤坂 1-10-5

E-mail TokyoAmView@state.gov

WEB <http://amview.japan.usembassy.gov>

*本誌記載の記事に述べられている意見は、必ずしも米国政府の見解を表すものではありません。



編集・発行／在日米国大使館 広報・文化交流部 Tel 107-8420 東京都港区赤坂 1-10-5
 American View: amview.ja.usembassy.gov 在日米国大使館: jp.usembassy.gov/ja American Center Japan やべへー・留学情報: AmericanCenterJapan.com
 カードハイライトでは、記事の全文、すべてない限りオヤ写真、その他の情報もご覧いただけます。本誌載った記事は送る意見は必ずしも米国政府の見解を表すものではありません。

君 可 ム 広
の 能 ゲ が
性 ン る
が に
の



Study in America
★★★

【アメリカ大使館主催】

アメリカ留学 EXPO 2017

9月9日(土) @御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター
12時開始 * 18時終了 * 入場無料・入退場自由

<http://AmericaEXPO.jp>

アメリカ大使館主催「アメリカ留学 EXPO 2017」が9月9日、東京・御茶ノ水ソラシティにて開催されます。ブース会場ではアメリカの大学約90校の担当者や卒業生から直接話が聞けたり、セミナー会場では大学・院留学の基本情報や奨学金情報、留学後の就職事情など、幅広いテーマでの講演にご参加いただけます。小・中高生、大学生、社会人、保護者、学校関係者など、皆さまの「来場をお待ちしております。詳細は「アメリカ留学 EXPO」で検索。



「アメリカ留学
EXPO 2017」
今年は、9月9日(土)開催!